

活 汲 村 物 語

NO. 35

活汲村物語～津別町活汲市街 いきいき倶楽部 in 「岡久 実さん」

この9月に「活汲アール・ブリュット美術館・café KAKKUMI」がオープンしました。

国道240号線活汲市街五味農機様横の約900坪の敷地内にメルヘチックな建物が沢山あります。おもわずドアをノックしたくなる様なわくわく感がし、訪問致しました。入口の看板には「いきいき倶楽部・活汲 アール・ブリュット美術館・café KAKKUMI」とあり、社会福祉士・一級建築士の岡久 実さんが開設致しました。

福祉・コミュニケーションスペース・カフェ・管理人棟・ミニ図書館・花壇・庭木・遊歩道・ベンチ、美術館・夢を見ているような楽しい建物と庭、オーナーの思いがいろいろな形で表現されています。

美術館開館にあたっての挨拶文があります。岡久さんの言葉を引用させていただきます。

「活汲アール・ブリュット（フランス語『生（き）の芸術』という意味）美術館は小さな美術館ですが、少しでも障害者の力になればと願い、開館しました。（美術館を鑑賞させていただいたのですが、障害者が書いたとは思えない程、素晴らしい絵でした。）障害は他人ごとではありません。誰もが人間らしく、喜び溢れる暮らしができるといいですね。」

ミニ図書館には、楽しい童画の絵本が有りました。「おじいちゃんのコート」「わすれられないおくりもの」「ルナスさん」など読みやすく親しみのある本が置いてありました。

近くにお越しの折には是非お立ち寄り下さい。活汲に新たな話題が出来てうれしいです。写真左は奥に美術館、右はミニ図書館。※ 国道側から美術館には直接入れません。施設東側カフェが入口ですが有料300円です。

